

DB-10

酢酸メドロキシプロゲステロン錠 10mg の USP

カテゴリ：合成プロゲステロン

組成：

各素錠は含まれています：

酢酸メドロキシプロゲステロン USP 10mg の

賦形剤適量

以下の場合には使用されるべきではない

・肝機能が低下。

●肝疾患。

動脈の●重篤な疾患、狭心症や心臓発作を起こしている例。

乳房や生殖器官の・・・がん。

●原因不明の異常膣出血。

・妊娠。まれな遺伝性血液疾患は、ポルフィリン症と呼ばれる。

1つまたはその成分に対してアレルギーがある場合にはこの薬を使用すべきではない、あなたが以前に経験している場合は、医師または薬剤師にご連絡ください

このようなアレルギー。アップ後しばらくは、アレルギー反応を経験していると感じ、この薬の使用を中止し、直ちに医師または薬剤師にご通知します。

【用法・用量】

メドロキシプロゲステロン錠の通常の用量は 10mg 毎日続発性無月経は 5～10 日間の治療を受けているようです。子宮出血を 5～10 日間の治療を受けている

16 日目または月経周期の 21 日に始まる。子宮内膜増殖症は、一日 1 または月経の 16 日に始まる 12～14 日間連続して処理されます

サイクル。

【副作用】

乳首から乳房の圧痛や液体の漏れは、メドロキシプロゲステロンとまれにしか発生しません。じんましんを含む様々な皮膚反応、にきび、毛の成長など

抜け毛も、時折報告されている。ブレイクスルーの出血（月経周期の途中で月経のような出血）、血液のスポッティング膣。

月経の変化、体重増加または減少。吐き気、発熱、不眠、黄疸がすべて報告されている。血栓はプロゲステロン療法の時折の重篤な副作用である。と喫煙者は血栓のリスクが高いです。プロゲステロンを必要とするため、患者療法が強く禁煙を奨励されています。

不明な理由のためにメドロキシプロゲステロンを撮るときに糖尿病患者が血糖値を制御するのは困難な場合があります。したがって、モニタリングを増加。血糖値と糖尿病のための薬の調整をお勧めします。

女性の健康イニシアチブ (WHI) の研究では、心臓発作、脳卒中、乳がん、血液ドット、肺塞栓 (血栓そのリスクの増加を発見した
?閉経後 5 年間のエストロゲンとの組み合わせでメドロキシプロゲステロンを服用した女性 (50 から 79 歳) だけでなく、中に肺の中のロッジ)
65 歳以上の女性では認知症のリスクの増加。

したがって、メドロキシプロゲステロンは、心臓病や認知症の予防のために使用すべきではありません。メドロキシプロゲステロン単独では、乳がんを促進することが実証されていませんが、乳がんは、通常、医師、プロゲステロン受容体を持っているので乳がんを持っていた女性にプロゲステロンの使用は避けてください。

【使用上の注意】

あなたはこの薬を服用する前に。高血圧を：あなたの病歴 (家族歴) を含む、医師に相談してください。発作。片頭痛。

糖尿病。喘息。心臓病や血管の問題 (例えば、脳卒中、心臓発作)、肝臓や腎臓病。血液ドット、癌の既往の高い血中濃度
月経周期中にコレステロールや脂肪、うつ病、過度の体重増加や体液貯留、黄疸 (皮膚や目が黄色くなる)。この薬ができるので、実験室でのテストを妨害すると、メドロキシプロゲステロンを取ることを医師と検査技師を教えてください。胎児への害の危険があるため、この薬は必須 (特に妊娠の最初の 4 ヶ月間) は、妊娠中は使用できません。あなたが妊娠したり、妊娠しているかもしれないと思う場合は、医師に知らせる

直ちに。この薬は母乳を通過します。乳児における問題の報告（これまでの）がなかったものの、授乳非常に高い使用中

この薬の投与は推奨されません。母乳授乳する前に医師に相談してください。

妊娠：メドロキシプロゲステロンは、高用量で生殖能力を阻害する。それは妊娠中に投与してはならない。

授乳中の母親：メドロキシプロゲステロンが母乳中に分泌される。乳児への影響は明らかにされていない。

【他の薬との相互作用】

テチ（Cytadren）は濃度の低下につながる肝臓でメドロキシプロゲステロンの除去を増加させることができる

血液中のメドロキシプロゲステロン、おそらくメドロキシプロゲステロンの効果の減少。

保管：室温で十分に密閉容器に保管してください。

包装：10錠のアルミニウム塩ビブリスター。

【メーカー】

UNICURE 救済 PVT。株式会社。

F/25、BIDC エステート。 Gorwa、

バローダ-390016、インド。